

珠算能力検定試験 1～7級 試験の程度

試験の程度及び内容は、次のとおりとする。

【1 級】

- (1) みとり算 10けたの円名数の加算又は加減算 10題とする。1題10口、1題の総字数100字。
- (2) かけ算 法・実合わせて11けたのもの20題とする。ただし、無名数のもの10題、円名数のもの10題とし、帯小数・小数の計算及び計算の結果、端数を処理するものを含む。計算の結果、端数が出たとき、無名数は小数第3位未満、名数は円位未満を四捨五入するものとする。
- (3) わり算 法・商合わせて10けたのもの20題とする。ただし、無名数のもの10題、円名数のもの10題とし、帯小数・小数の計算及び計算の結果、端数を処理するものを含む。計算の結果、端数が出たとき、無名数は小数第3位未満、名数は円位未満を四捨五入するものとする。

制限時間は、(1) みとり算、(2) かけ算、(3) わり算合わせて30分とする。

【2 級】

- (1) みとり算 8けたの円名数の加算又は加減算 10題とする。1題10口、1題の総字数80字。
- (2) かけ算 法・実合わせて9けたのもの20題とする。ただし、無名数のもの10題、円名数のもの10題とし、帯小数・小数の計算及び計算の結果、端数を処理するものを含む。計算の結果、端数が出たとき、無名数は小数第3位未満、名数は円位未満を四捨五入するものとする。
- (3) わり算 法・商合わせて8けたのもの20題とする。ただし、無名数のもの10題、円名数のもの10題とし、帯小数・小数の計算及び計算の結果、端数を処理するものを含む。計算の結果、端数が出たとき、無名数は小数第3位未満、名数は円位未満を四捨五入するものとする。

制限時間は、(1) みとり算、(2) かけ算、(3) わり算合わせて30分とする。

【3 級】

- (1) みとり算 6けたの円名数の加算又は加減算 10題とする。1題10口、1題の総字数60字。
- (2) かけ算 法・実合わせて7けたのもの20題とする。ただし、無名数のもの10題、円名数のもの10題とし、帯小数・小数の計算及び計算の結果、端数を処理するものを含む。算の結果、端数が出たとき、無名数は小数第3位未満、名数は円位未満を四捨五入するものとする。
- (3) わり算 法・商合わせて6けたのもの20題とする。ただし、無名数のもの10題、円名数のもの10題とし、帯小数・小数の計算及び計算の結果、端数を処理するものを含む。計算の結果、端数が出たとき、無名数は小数第3位未満、名数は円位未満を四捨五入するものとする。

制限時間は、(1) みとり算、(2) かけ算、(3) わり算合わせて30分とする。

【4 級】

- (1) みとり算 5けたの円名数の加算又は加減算 10題とする。1題 10口、1題の総字数 50字。
- (2) かけ算 法・実合わせて7けたのもの 20題とする。ただし、無名数のもの 10題、円名数のもの 10題とし、いずれも整数の計算とする。
- (3) わり算 法・商合わせて6けたのもの 20題とする。ただし、無名数のもの 10題、円名数のもの 10題とし、いずれも整数の計算とする。

制限時間は(1) みとり算、(2) かけ算、(3) わり算合わせて 30分とする。

【5 級】

- (1) みとり算 4けたの円名数の加算又は加減算 10題とする。1題 10口、1題の総字数 40字。
- (2) かけ算 法・実合わせて6けたのもの 20題とする。ただし、無名数のもの 10題、円名数のもの 10題とし、いずれも整数の計算とする。
- (3) わり算 法・商合わせて5けたのもの 20題とする。ただし、無名数のもの 10題、円名数のもの 10題とし、いずれも整数の計算とする。

制限時間は、(1) みとり算、(2) かけ算、(3) わり算合わせて 30分とする。

【6 級】

- (1) みとり算 3けたの円名数の加算又は加減算 10題とする。1題 10口、1題の総字数 30字
- (2) かけ算 法・実合わせて5けたのもの 20題とする。ただし、無名数のもの 10題、円名数のもの 10題とし、いずれも整数の計算とする。
- (3) わり算 法・商合わせて4けたのもの 20題とする。ただし、無名数のもの 10題、円名数のもの 10題とし、いずれも整数の計算とする。

制限時間は、(1) みとり算、(2) かけ算、(3) わり算合わせて 30分とする。

【7 級】

- (1) みとり算 2けたの無名数の加算または加減算 10題とする。(1題 10口、1題の総字数 20字)
- (2) かけ算 法・実合わせて4けたの無名数のもの 10題とし、全て整数の計算とする。
- (3) わり算 法・商合わせて4けたの無名数のもの 10題とし、全て整数の計算とする。

制限時間は(1) みとり算、(2) かけ算、(3) わり算合わせて 20分とする。